

残席わずか

アーキテクチャー入門（4121138）

アーキテクチャーはシステムの骨格の静的・動的なモデルです。構想・計画段階で作成し、アプリケーションと基盤の全般の構築・運用の基礎とします。複雑度の増す現在のシステムにおいて、その重要性は増えこそすり減ることはありません。本セミナーでは企業システムのアーキテクチャーを作る方法のエッセンスを学びます。

開催日時	2022年1月13日(木) 10:00-17:00
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
講師	天羽正道 氏 （フリーランスITアーキテクト） 元 日本アイ・ビー・エム株式会社 エクゼクティブアーキテクト。 チーフアーキテクトとして様々な環境でのビジネスアプリケーションの開発をリード、構想を支援。
参加費	J U A S 会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	◆対象：・プロジェクトの構想、計画においてシステムの全体像を明確にする仕事に携わる方・上流工程～下流工程にてアーキテクトとしての仕事の一部～全般に携わる方・アーキテクチャーに関心のある方 ◆受講前提条件：・アプリケーションの設計・開発の経験3年程度・もしくはインフラの設計・導入の経験3年程度 初級
開催形式	講義、演習
定員	11名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

会場のみ（オンラインなし）【Co-lab-po（2階会議室）施設利用にあたっての取り組み】

■テキスト

当日配布

<主な内容>

- ・アーキテクチャーの定義と重要性
- ・アーキテクチャー・モデルの作り方
- ・アーキテクチャー・モデルを作るワークショップ
- ・クラウド等の最近のアーキテクチャーのトピック

<詳細内容>

1 アーキテクチャーの定義と重要性

アーキテクチャーとは何か、アーキテクチャーの位置付け、必要性や価値を共有する

- ・アーキテクチャーは静的・動的なシステムの構造のモデル
- ・優れたシステムを作り、運用し、拡張するための基礎
- ・要求の分析、実現性の確認、構築単位の識別、インターフェースの認識に必要
- ・見積もり、ロードマップ、基盤選定条件などに利用
- ・作成のタイミングは概ねプロジェクトの計画時
- ・アーキテクチャーの構成
- ・アーキテクチャー作成の流れ（一枚物）
- ・アーキテクチャーの種類

- 2 アーキテクチャー・モデルを作る際のポイント
 - ・関心分離
 - ・凝集度、結合度
 - ・パレートの法則
 - ・デシジョンの可視化、共有
 - ・ファーストカットモデルと洗練のスパイラル
- 3 アーキテクチャー要求の捉え方
 - ・コンテキスト図
 - ・ユースケース・モデル
 - ・非機能要件（性能、運用、障害回復、エラー処理など）
- 4 機能モデルの作り方
 - ・ユースケース単位にシーケンス図を描きながら機能構造図を洗練する
 - ・技術要素を追加し実現の方式を表す
- 5 非機能モデルの作り方
 - ・非機能要件とは
 - ・非機能要件を実現するための機能要素を追加する
 - ・非機能要件を実現するために機器、ソフト、データの配置を表す
- 6 アーキテクチャーの検証

要求を満たすか、実現可能か、理由付けが明確か、などの検証について共有
- 7 アーキテクチャー・モデルを作るワークショップ

簡単なアーキテクチャーモデルを作って理解を深める
- 8 アーキテクチャーのトピック

最近のキーワードとアーキテクチャーとの関係を共有する

 - ・クラウド
 - ・API
 - ・マイクロサービス